

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

12 月

244号

- ◇ 年末は一年の総決算
- ◇ 因縁を知る人が真の智慧者
- ◇ よみがえる教え妙法



ホームページ

宗教法人 真生会

～お知らせ～

行事法要のご案内

総本山真生寺 年末年始ご参拝案内
除夜の鐘 大晦日 20時30分～21時30分
初詣参拝 元旦、二日 正午～16時

1月は新年祝寿祈願大法要がございます。
日時は各教会の日程表にてご確認ください。
※只今、総本山・各教会において供養受付中



▲QRコードから
年末年始ご参拝の案内
チラシがご覧頂けます

七五三詣り 子供災難除け

十一月九日、総本山真生寺・大阪教会において七五三詣り・子供災難除けを執り行つた。真生寺では当日停電に見舞われるトラブルが起きたが、ご祈禱前に復旧し定刻に始まった。読経供



▲本年限定の絵柄の
すこやか守を授与



▼記念品の写真立て
仕様のQUOカードpay
(総本山)



お子様も経典を手に
一緒に読経供養

に成長されることを祈願した。
最後にご祈禱申込のお子様には
記念品が授与された。

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、
自分の運命を変え在家の法華経教団で
す。宗旨宗派は問いません。どなたでも
安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

仏の智慧を身に付けよう!!

令和七年信仰目標

『自分の成長と人救いのために』

◇幸福の五ヶ条

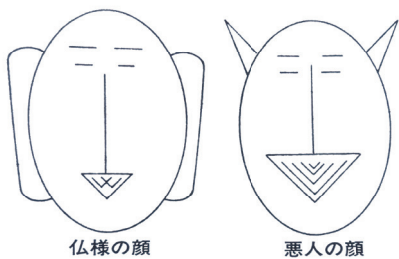
- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

れる人は常に人の意見を先ず聞く鷹揚おおような大きな心の耳をお持ちです。次に口（言葉）は相手を救う優しい口をしてもらえます。悪人は図の如く、人の意見や忠告を聞く耳は小さく、口は常に相手を威圧し罵詈雑言ばりぞうごんを吐き、相手に対しての攻め道具に大きく口を開いております。私たちの日常生活を振り返り反省するとき、心は悪人顔であるか、仏様顔であるか、はたして自分
はどちらの部類にぞくしているでしょうか。



たなかひでひと
田中偉仁開祖さまのみ教え

同じ圓えんを書き、同じように目鼻を書きました
が、下記の図の如く、仏様の顔と悪人の顔とに
分かれてしまいます。どこが違うかよく眺めて
下さい。耳と口が違ってあります。仏様と言わ



（1985年、真実に生きる55号より）



お子様へ教会長より福のお授け
（大阪教会）



七五三詣り・子供災難除けにてお子様の
健やかな成長を祝った（大阪教会）

聖地一斉勤労奉仕

十一月十六日、勤労感謝の日の
月に合わせて総本山真生寺にお
いて聖地一斉勤労奉仕を行っ
た。各教会からの参加者含め
総勢三十名程の会員信徒が奉

仕作業に
汗を流し
た。境内
山林の四
天王守護
神の清掃
や水路に
溜まった
泥や落ち
葉拾い、
山道階段



の枕木の補修作業などで境内各
所が整備された。最後には境内
で収穫したばかりの柚子が配ら
れた。奉仕者一同、秋晴れの中
で身施の喜びを感じながらの奉
仕作業となった。

ご真教法話

会長 田中 庸仁
たなか つねひと



◇年末は一年の総決算

今年も残りわずかとなりました。年末は今年一年の徳・不徳の決算月です。一年を振り返って愚痴や不足、怒りや慢心、貪りというマイナスが多かった人は、急いで感謝や喜び、精一杯の施しをして不徳の赤字決算にならないように穴埋めをしましょう。

感謝や喜びのプラスが多かった人も、更なる徳の上積みをして充実した年末を過ごしましょう。

もし年末に怪我や病気、困ったことが起きた人は、年内中に一年の不徳の清算が出来たと受け止め、不徳の借金を来年に持ち越さなくて済ん

だことを喜びましょう。

反対に一生懸命徳積みをしてきたつもりなのに特別良いことが起こらなかった人は、徳の貯金が来年に持ち越されてきつと利息が付いて戻って来るだろうと喜びましょう。

何事も最後の仕上げが大切です。洗濯をしてシワの入ったワイシャツでも、最後のアイロン掛けがしっかりできたら、見た目も良く気持ちよく着られます。

年末は毎日进行のアイロン掛けと思って丁寧にまごころを込めて過ごしましょう。

◇因縁を知る人が真の智慧者

十月の末に九十才を越えたベテラン信者さんから電話相談がありました。



「先生、大変なことが起きました。昨晚トイレに起きて用を足した後、立ち上がる時にめまいがして狭いトイレの中で前のめりに倒れ、左の目の上を切り、気が付いたら床も顔も血まみれでした。」

誰か呼ぼうにも息子夫婦の部屋は離れており呼んでも聞こえません。何とか自力で立ち上がり、トイレットペーパーで傷口を押さえ、床を拭いて部屋に戻りました。血は止まったようでしたので、そのまま休みました。翌朝起きて来た嫁がビックリして医者に連れて行ってくれましたが、結構な傷で三針縫いました。

年末は一年の総決算と教えてもらいますが、私の総決算は毎年早くて十月に出ますが、今年も十月にこんなケガをしました。先生、何の罪でしょうか？何を反省すればいいでしょうか？」という相談です。

開祖さまの教えをすっかり学んだベテラン信者さんですので、「電信柱が高いのも、郵便ポストの赤いのもみんな自分が悪いのよと悟れば、必ずよくなる」という開祖さまの教えを信じ、懺悔反省される心構えは

さすがと思いました。

すべては自分の心の現れという諸法実相しよほうじつそごうの教えから言えば、左は男の因縁、目の上ですから、誰か目上の男の人に対する不徳や心得違いということになります。九十才を過ぎたおばあさんには目上に当たる男の人は現在いません。

そして、毎年十月に色々な困ったことが起きると言われましたので、こんなことをお尋ねしました。

「あなたを養女として迎え、幼い頃から跡取りとして大切に育ててくれた義父の命日は何月ですか」

「はい、義父の命日は十月です」

「罪や業ではありませんが、去る者日々に疎うとしで、大恩ある義父への報恩感謝のお祈りや徳積みが不足しているのだと思います。毎日必ず読経供養するこ



とと、祥月命日の月にはしっかりと徳積みをされるといいですよ。親が亡くなったという悲しい谷の月が、親の思いに護られて良いことが起きる嬉しい山の月に変わりますよ。来年からは十月を大切にしましょう。」

「分かりました。祥月命日は過ぎてしまいましたが、早速ご供養させていただきます」と理解されました。

男の人に徳のない人、女の人に徳のない人、目上や目下の人に徳のない人、仕事に徳のない人など、誰にでも不徳のウィークポイントがあります。

一般的には一年の総決算は年末十二月ですが、どの家にも因縁の年回りや因縁の月日という悲しい出来事ことや大きな変化など人生の節目の年月があります。一つは年忌法事の年月です。最近はどんどん簡略化され、祖父母や親の年忌法事も七回忌も過ぎると兄弟親戚も呼ばなくなったり、法事そのものをやらなくなる家も増えているようです。

これでは幹や枝葉を支える根が弱り、ちよつとした大風や台風などで

根こそぎ倒れてしまうように、残った子や子孫は風前の危うき人生です。

先日も木枯らし一号の突風が吹いた日、市内の幹線道路を走っておりましたら、十メートル以上ある大きなポプラの並木が根こそぎ倒れ警察が規制線を張っていました。見た目は一抱えくらいある幹で立派な大木でしたが、根っこは小さく腐っており、地上の幹や枝葉を支える力が無くなり倒れたのです。

昨今の墓じまいや大恩ある親の年忌法事を蔑ろにする風潮は、根の腐った樹木のように何かあった時には今の幸せも根こそぎひっくり返ってしまうのです。根がしっかり張っている樹木は、仮に今年枝葉に花が咲かなくても来年はきつと咲くという楽しめと希望が持てます。



先師の名言、名句

物事が順調に進み、周囲から誉められた時「お陰様で」と言います。陰というのは目に見えない所です。目に見える実力や努力以上の良いことが起きるのは、目に見えない神仏や亡き親・先祖に守られて「陰の力」を頂いているのです。これが真理です。

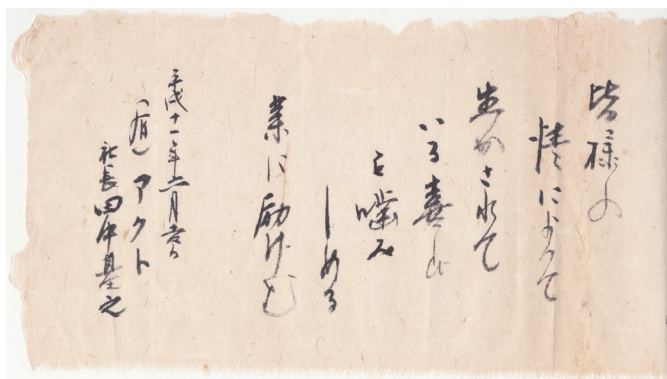
◇よみがえる教え妙法

どんな因縁も乗り越えられない問題はありません。田中家は私の曾祖父と祖父が五十六才の時、二代にわたって倒産の悪因縁がありました。開祖さまご夫妻の不断のご精進と徳積みによって田中家の運命はよみがえりました。開祖さま五十六才、祖父の二十三回忌の年に総本山の土地が買え、私の五十六才の時に旧本部の隣地が買えました。

また、曾祖父の命日は十一月三十日ですが、真生会の法人認可が下りたのも、総本山と旧本部隣地が買えたのも十一月でした。家土地を失うという運命の谷間であつた年回りや月が、家土地が増え嬉しいことが起きる因縁に切り替わつたのです。法華經の教えに間違ひはありません。



感謝 報恩
今日あるは
親のおかげと
皆様の情によって
生かされている喜びを
噛みしめる
業に励げむ



(開祖さま書簡)

開祖さま四男の基之さんが起業するにあたり、開祖さまが送られた書簡です。

何事も自分の力と努力だけではなく、陰ながら支えて下さる親の応援と縁ある皆様の情けによって生かされているという感謝とその御恩に報いるという心構えが事業繁栄の基礎なのだというご指導です。

（2026年1月5日～2月3日）

一 白水星

物事を完成させる時だが焦ってはいけない。機熟のすのをじつと待つことである。心に誠があり正しく待機すれば必ず良い結果につながる。時期が来たら思い切った冒険も良い。

二 黒土星

大いに前進し発展する可能性があり望みは大いに通る。実行力が強くやるべきことをやっているのでも人何とも言えないが、威圧的にならないように。有頂天にならずうまく行かない時にも備えること。

三 碧木星

行く手を塞ぐ大きな問

題に直面する。行いは

出しやばらず控えめに過ぎること。消極的すぎる。チャンスが訪れる。攻めるより守りを、前進より維持を、昇るより後退を心がけること。

四 緑木星

家族や仲間と仲良くすることが最も大切。互いに助け合い和合があれば何事もうまく行く。集団の和を保つには主役よりも裏方の働きが重要になる。家庭なら主婦、集団なら陰役の力でまとまる。

五 黄土星

運氣の谷間に入った。人とのつながりを大切

にすること。小さな水の一滴一滴が集まりや

がて大海に注ぐように小さな善行の種が必ず大きく育つことを忘れないように。

六 白金星

陰と陽、天と地が離れ離れになってまとまらず行き詰まりを生じる。ジタバタせず腹をくくって時を待つ。能力を内に隠して表に出さぬこと。目立つと妬まれるので要注意。

七 赤金星

運氣は絶好調。自分から積極的に行動して相手を喜ばせれば、多くの人が自然に集まり従ってくれる。あなた

の目的と行動に魅力を感じて人は集まるが浮かれてはならない。

八 白土星

運氣は強いが難問処理の時。組織や計画の建て直しが必要。慌てず一からやり直せばよい。旧来の馴れ合いで腐った組織の大掃除の時が来たと前向きに乗り越えれば道が開く。

九 紫火星

周囲から注目される所に立っている。大きな行動や新規事業は控えること。但し、何事も明るく考え、常に内なる情熱を燃やしながら今は実力を蓄える時である。

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。紙面をもって感謝申し上げます。（敬称略・順不同）

多田佳央	高橋身衣	岸本周夫	佐藤百々枝	坪井祥子
山田佳延	鈴木快法	京川春男	佐藤光洋	片桐淳子
飯田昌子	足立和美	鈴木正巳	山本季美衣	荒木敬依子
飯田修五	熊田啓予	多田正幸	伊東 晃	永田雅子
加藤祐記子	亀井善広	多田道子	安田初子	宮島りえ
大橋末子	亀井由実子	加納啓至	谷口祐晟	村上視佑記
堀部恭利	田中宏明	福元正子	谷口祐子	坂本育身
堀部祐美衣	田中花音	滝本光男	林田早紀子	大下裕子
早野起世	田中佑季子	東森敦巳	滝山恵依子	平口富子
早野桂子	田中庸仁	土川順観	大西啓依子	長尾夏芳里
豊田直正	佐藤ひとみ	土川恭代	笹原トミ子	正木みつ子
豊田真悠子	松尾定洋	土川康二	笹原正子	
田中祥陽	亀井善二	土川廣美	三村南央斗	
田中理夏子	岸本昌子	横山知津子	三谷衣里	

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058 (235) 7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店

普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

仏の教えは中道実践
何事もやり過ぎは禁物
過保護・過干渉は、
企業も人も衰退させる
苦勞をして自力を付ける
自立支援が大切
行き過ぎた放任主義は墮
落する

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします